

日本社会福祉学会 中国・四国地域ブロック

## 第 49 回広島大会

### 大会テーマ

社会的孤立・生活困窮者に対する

社会福祉からの支援

日時：2017年7月1日（土）10：00～16：30

（受付9：00～）

会場：広島国際大学 広島キャンパス 7・8階

（〒730-0016 広島県広島市中区幟町1-5）

問い合わせ先：広島国際大学 医療福祉学部 事務室

TEL：0823-70-4611

FAX：0823-70-4612

## 日本社会福祉学会 中国・四国地域ブロック 第49回広島大会 開催要項

1. テーマ：社会的孤立・生活困窮者に対する社会福祉からの支援

### 2. 開催趣旨

1990年代初め、最たる貧困者である衣食住をなくして路上に出たホームレスの存在が社会問題になり、ホームレス支援はNPO・市民団体の領域から始まり、おって社会福祉からの支援も部分的に始まってきた。社会福祉政策の領域では、それらNPO・市民団体の要請を受けて2003年からホームレス自立支援法が議員立法で制定され、生活保護法の適用緩和（住所地不要）、2012年以降、政府は相対的貧困を公式に認識し、2013年に生活困窮者自立支援法を制定し、生活困窮者は一定の収入があっても住居確保給付金等の公的支援を利用できる制度を作り、福祉事務所設置の地方自治体が生活保護等と合わせて運営し、一部をNPO、社協等への委託で対応している。支援対象の第一の特徴は、経済困窮にとどまらず、社会的孤立（家族・知人の相互支援の欠如、コミュニティの欠如）、高齢・障害・被虐待・軽犯罪と重なり、社会福祉と司法の政策領域が協働して、2005年以降の保護観察所、刑務所への社会福祉士等の配置、2008年以降の都道府県地域定着支援センターの設置、2014年の地方検察庁への社会福祉士の配置、2016年に再犯防止推進法が制度化され、福祉・雇用・司法の重なる領域での協働活動による支援が進んでいる。第二の特徴は、被虐待により家族から逃げ出した経済困窮・社会的孤立の母子がみられ、社会福祉の領域でDV防止センター、女性シェルター、婦人保護施設、母子支援施設等による支援がなされている。

このような非常に複雑化している状況において、貧困・障害・高齢・女性等の福祉、司法、就労の領域、そして市民活動等との協働活動による地域福祉を考えたい。

3. 主催：日本社会福祉学会 中国・四国地域ブロック

4. 後援：広島県、広島市、東広島市、広島県社会福祉協議会、広島市社会福祉協議会、東広島市社会福祉区協議会、広島県社会福祉士会、広島文教女子大学、広島文化学園大学、広島国際大学（予定）

5. 日時：2017年7月1日（土）10：00～16：30

6. 会場：広島国際大学 広島キャンパス 7・8階  
〒730-0016 広島県広島市中区鞆町 1-5

### 7. スケジュール

（敬称

略）

9：00～ 受付

10：00～10：20 開会式

挨拶：会場校代表

広島国際大学 学長 焼廣 益秀

日本社会福祉学会中国・四国地域ブロック

第49回広島大会実行委員長 岡崎 仁史

日本社会福祉学会中国・四国地域ブロック

担当理事 杉山 博昭

- 10:20~12:20 **自由研究発表**  
**特定課題セッション**  
「中国・四国地方の特定課題に関する社会福祉研究」
- 12:20~13:30 休憩  
**日本社会福祉学会 中国・四国地域ブロック総会**（会員のみ）
- 13:30~14:30 **基調講演**  
「社会的孤立・生活困窮者に対する社会福祉からの支援」  
講師：山田 壮志郎（日本福祉大学 准教授）
- 14:30~14:40 休憩
- 14:40~16:10 **シンポジウム「社会的孤立・生活困窮者に対する社会福祉支援の展開」**  
シンポジスト 広島市健康福祉局地域福祉課  
鈴川 千賀子（広島市社会福祉協議会福祉課 課長、社会福祉士）  
田中 洋子（広島地方検察庁 福祉コーディネーター、社会福祉士）  
コメンテーター 山田 壮志郎（日本福祉大学 准教授）  
コーディネーター 岡崎 仁史（広島国際大学 教授）
- 16:10~16:30 **閉会式**  
挨拶：日本社会福祉学会中国・四国地域ブロック  
第49回広島大会実行委員 木村 敦子  
日本社会福祉学会中国・四国地域ブロック  
第50回香川大会実行委員 四国学院大学
- 17:00~19:00 **懇親会**

8. **参加申込：** 2017年6月12日（月）までに、別添の「大会参加及び発表申込書」に必要な事項をご記入の上、FAX、E-mail または郵送にてお申込みください。

9. **懇親会：** 懇親会は、会場周辺にて開催を予定しております。  
別添の「大会参加及び発表申込書」に参加・不参加の記載がありますので、2017年6月12日（月）までにお申し込みください。  
会費については5000円程度の予定です。

10. **参加費：** 当日、受付で直接お支払いください。釣銭が要らないように、ご準備をお願いいたします。

<b>大会参加費</b>	<b>懇親会費</b>	5,000円程度
会員	1,500円	
非会員	2,000円	
学生（院生含む）	無料	

11. **昼食：** 各自でご準備ください。大会会場は、飲食物の持込みは可能です。

12. **要約筆記：** 基調講演とシンポジウムには、要約筆記を予定しています。

### 13. 自由研究・特定課題セッション発表の募集：

自由研究・特定課題セッション発表の登録は 2017年5月29日(月)、発表要旨の提出は 2017年6月5日(月) までです（詳しくは5ページをご覧ください）。

#### 各種申込み先及び締め切り

◎自由研究・特定課題セッション発表登録締め切り	2017年5月29日(月)
◎自由研究・特定課題セッション発表要旨締め切り	2017年6月5日(月)
◎大会参加申込み締め切り	2017年6月12日(月)

申込み先：〒731-0295 広島県広島市安佐北区可部東一丁目2番1号  
広島文教女子大学

TEL：082-814-3352（人間福祉学科実習計画室直通）

FAX：082-814-3371

E-mail：ftaikai@h-bunkyo.ac.jp【大会専用アドレス】

#### 大会会場へのアクセス



■JR 広島駅より徒歩約10分

広島駅南口⇒郵便局の角を右折⇒駅西高架橋を渡る⇒上柳橋を渡り左折

■駐車場はありませんので、公共交通機関あるいは近辺の駐車場をご利用ください。

## ＜自由研究・特定課題セッション発表 応募要領＞

以下の要領で「自由研究」及び「特定課題セッション」の発表者を募集します。

「特定課題セッション」は「中国・四国地方の特定課題に関する社会福祉研究」をテーマに、中国・四国地方の地域社会の特徴である過疎化・人口減少、高齢化・少子化や県庁所在地でのホームレスの出現などという特徴、並びにそれらの住民の生活課題に対する保健・医療・福祉等の制度的サービスの連携による支援や住民主体の地域福祉活動をテーマにした研究発表を募集します。なお、中国・四国地域ブロック刊行予定の『中国・四国地方の社会福祉（仮）』（約 250 頁、2018 年 3 月）への投稿は、このテーマに関する既発表者および今回の新規発表者がピアレビューを経て投稿できます。

- 1. 発表資格：** 日本社会福祉学会会員及び申請中の者であることが条件です。筆頭発表者（ファースト・オーサー）は、中国・四国地域ブロックの会員のみです。なお、共同発表者については、他ブロックに所属する者でも可能です。
- 2. 発表件数：** 筆頭発表者（ファースト・オーサー）は 1 演題に限ります。したがって、演題の申し込みは必ず筆頭発表者が行ってください。演題の申込者と筆頭発表者が異なる場合は受理できません。なお、筆頭発表者は発表とは別に、他の研究発表等で共同研究者として名前を連ねることは可能です。同一テーマによる発表は「その（1）」「その（2）」までとします。但し、ルールは 1 テーマ 1 発表なので、「その（1）」「その（2）」が認められるのは、内容が別の研究と認められる場合になります。
- 3. 演題採択：** 演題の採択については、査読を経て決定しお知らせします。また、査読の結果、原稿の修正等を求めることがあります。修正を求められた場合には、修正コメントに基づいて指定した期日までに再提出をしてください。再提出がされない場合には、発表を受け付けられません。採否については、自由研究発表申し込みで使用した E-mail もしくは住所に通知します。
- 4. 発表の日時・会場の決定：** 大会実行委員会が、日時と会場を決定いたします。詳細は、演題採択の情報と共に発表者に E-mail もしくは住所に通知します。
- 5. 申込方法：** 「自由研究発表」及び「特定課題セッション発表」を希望される方は、参加申込書にその旨を記載の上、締切期日までに 8 ページにある要旨のフォーマットに従った原稿データ（word 形式に限る）を添えて、**FAX、E-mail または郵送**で大会事務局までお送りください。E-mail アドレスは **ftaikai@h-bunkyo.ac.jp** です。
- 6. 発表時間：** 自由研究・特定課題セッション発表：1 発表につき 25 分  
(発表 20 分、質疑 5 分)

7. 発表方法： プロジェクターを用いたパワーポイント等の使用については、申込書にその旨を記載された方に限ります。パソコンは大会事務局で用意します（Windows8.1・Powerpoint2013）。

データは、発表当日に USB メモリに保存して持参し、大会事務局で用意したパソコンにインストールした後に、発表前に画像等を必ず確認してください。

8. 配布資料及びパワーポイントの映像について：

当日の配布資料がある発表者は、**50部**を目安に当日持参してください。大会事務局では、印刷・コピー業務は対応できませんのでご注意ください。また配布資料及びパワーポイントの映像の作成については、日本社会福祉学会の「研究倫理指針」を十分確認してください。

9. 発表が成立する条件について

「自由研究発表」及び「特定課題セッション発表」は、原則、本人が発表した上で、分科会の開始から終了まで筆頭発表者が参加することで「発表成立」とします。途中退席した場合には「発表不成立」となるのでご注意ください。

10. 発表要旨集掲載原稿の様式と研究倫理の点について

発表要旨集掲載原稿については、以下の要領で作成してください。なお、原稿統一のため、レイアウトを一部事務局で訂正を加える場合があります。

■原稿の様式（フォーマット例は8ページ参照）

- ①枚数 1発表につき A4 縦2枚（横書き）
- ②余白 上下左右 25 mm
- ③文字数 1ページ 40字×40字
- ④フォント 主題：12ポイント MS ゴシック・中央揃  
副題：10.5ポイント MS ゴシック・中央揃  
所属：9ポイント MS 明朝、氏名：10ポイント MS 明朝  
会員番号：9ポイント MS 明朝  
キーワード：9ポイント MS 明朝（3つ）  
見出しおよび本文：10.5ポイント MS 明朝（だ・である調で記入）
- ⑤記述内容
  - 1. 研究目的
  - 2. 研究の視点及び方法
  - 3. 倫理的配慮
  - 4. 研究結果
  - 5. 考察

\*原稿の様式が指定と違う場合、研究倫理の点から発表にそぐわないと実行委員会が判断した場合は受理しません。要旨作成の際には、日本社会福祉学会「研究倫理指針」を十分確認してください。

(\*1 行空白)

主題: 12pt ゴシック・中央揃

—副題: 10.5pt ゴシック・中央揃—

○ 9pt 明朝大学 氏名 10.5pt 明朝 (会員番号9pt)

中国 太郎 (□□大学・会員番号)、四国 花子 (△△大学・会員番号)

キーワード3つ: 9pt 明朝・中央揃

1. 研究目的

2. 研究の視点および方法

3. 倫理的配慮

4. 研究結果

5. 考察



申込先：(郵送の場合) 〒731-0295 広島県広島市安佐北区可部東一丁目2番1号  
広島文教女子大学  
(E-mailの場合) ftaikai@h-bunkyo.ac.jp【大会専用アドレス】  
(FAXの場合) 082-814-3371